

# 事務局だより

お盆明け早々に台風7号がやってきて、駆け足で東北を通過して行きましたが、会員の皆様のアンテナ等に被害はなかったでしょうか？

お空のコンディションは、Eスポーズンから徐々に秋のコンディションに変わり始める頃となりましたが、太陽活動は低調のようですので、プアな設備でDXを楽しむのは無理かもしれません。国内交信に関しては、F層による安定した伝搬となる時期となりますので、それなりに楽しめると思われます。

さて、今年度の事務局便りも例年と同様のパターンで恐縮ですが、まずは当クラブの今年度のこれまでの活動について振り返り、続いて今後の予定、トピックなどをお知らせ致します。

## 平成28年度 1月～8月の活動報告

期 日	事 業 名	会 場
H28. 1. 12 (火)	平成28年度総会	中田農環改
H28. 2. 20 (土)	オンエアーミーティング	—————
H28. 3. 19 (土)	定 例 会	中田農環改
H28. 4. 16 (土)	定例会・技術講習会	〃
H28. 5. 21 (土)	定 例 会 フォックスハンティング実行委員会	〃
H28. 5. 29 (日)	第44回モバイルフォックスハンティング	〃
H28. 6. 5 (日)	登米市総合防災訓練参加	登米市消防防災センター
H28. 6. 18 (土)	オンエアーミーティング	—————
H28. 7. 16 (土)	定 例 会	中田農環改
H28. 8. 7 (日)	移動運用 (移動定例会)	東和町蚕飼山
H28. 8. 22 (月)	事務局だより発行	—————

技術講習会以外は予定どおりに活動を行うことができました。ご協力ありがとうございました。

### ● 定例会

これまで長年毎月5日に開催していましたが、少しでも参加者が増えることを期待し、今年度は第3土曜日の開催を試行しているところですが、残念ながらその効果はなく、これまでのところは昨年度と同様、定例会への参加者数は2～5人程度と、寂しい状況です。

それぞれ、色々と事情はあると思いますが、うまくスケジュールを調整し参加していただけたらうれしいのですが・・・。

## ● 技術講習会 … (テーマなし) … 4月16日

3月19日と4月16日の2回を予定し、会員の皆さんに、内容について事前にリクエストを寄せていただくようお願いしたのですが、これといったご意見・ご要望はありませんでした。そのため、案内状は出さずじまいとなってしまいました。

それでも何かはしようということで、3月については事務局 (JA7IUJ) で、定例会に参加した皆さんが少しは興味を持ちそうな測定器や古いリグやなどを準備したのですが、参加者が極わずかだったため車から降ろすことなく流会としました。

4月については、副会長 (JA7ROC) さんがめずらしい機材を複数持参し、出席した皆さんに紹介してくれました。

この技術講習会については、ネタ切れという状況がしばらく続いていることや、クラブ員の皆さんのニーズがつかめない (ニーズがない?) ことなどがあり、今後の取り扱いについては検討を要する事業かもしれません。

## ● 第44回フォックスハンティング … 15チーム/21名が参加 … 5月29日

当日は好天に恵まれフォックスハンティング日和となりました。そんな中、15チーム・21名がエントリーし、例年同様に熱戦が繰り広げられました。

参加状況は、チーム数は前年度と同じ、ハンターの人数は2名の増となりなりました。例年に比べ、二人態勢で挑んだチームが多かったのが今回の特徴と言えるかもしれません。また、地元 (宮城県内) からの参加は、当クラブから4チーム・7名、クラブ員以外のチームが1チーム・2名でした。前年度に比べ1チーム・2名の増となりました。今後もこの傾向が続いてくれると嬉しいのですが……。期待したいと思います。

なお、FOXは昨年と同じオペレーターが担当しました。FOX1がJN7VFO・桜井局長さんとJP7APP・添野局長さん、FOX2がJI7LYJ・高橋局長さんとJL7RKY・桜井局長さんでした。添野さん以外はクラブ員ではありませんが、昨年に引き続き快くオペレーターを引き受けていただきました。本当にありがたく感謝に堪えません。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。



競技結果は下表のとおりです。(競技開始時刻は10:00)

順位	チームメンバー	FOX1 発見時刻	FOX2 発見時刻	所要時間 (分)
1	JA7IUX, JF7CYL	10:19	10:39	39
2	JA7KTX, JO7LYQ	10:20	10:40	40
3	JH1FFV, JL1BLS	10:18	10:49	49
4	JS1GVY	11:08	10:51	68
5	JF1SQS	11:20	10:51	80
6	JH1MTG	10:35	11:33	93
7	JR7JNX	10:34	11:53	113
8	JA1HOW	10:57	11:59	119
9	J11TCV	10:22	—	22
10	JH1SFE	10:40	—	40
11	JH7RVR	10:51	—	51
12	JA1OQD	11:08	—	68
13	JJ7HFP, JR7SWL	—	11:15	75
14	JP7AYN, JP7AYM	—	11:39	99
—	JA7THE, JP1AWP	—	—	—

\* 実際には秒単位まで記録をとり順位を決定しています。

\* ピンク色の欄は当クラブメンバーです。

### ●登米市総合防災訓練 … 9名が参加 … 6月5日

今年度は、災害時応援協定を結んでいる登米市から、震災後としては初めての総合防災訓練参加要請があり、通算で4回目の訓練参加となりました。

今回は、過去の訓練参加時のような詳細なシナリオは提示されなかったため、交信の内容等の具体的なことはクラブで考えて、あるいはオペレーター自身が考えて行うという、いささか戸惑う難しい対応となりましたが、なんとか所期の目的を達成することができました。

参加局は、本部要員としてJA7KTX、JH7FBX、JA7IUXの3名、訓練重点地域への移動局としてJH7RVR、JJ7HFPの2局、さらに各地からの情報提供局としてJA7LN、JF7KOR、JM7ECS、JP7APPの4名、以上合わせて9名の方々にご協力をいただきました。

都合により参加できなかった会員の皆さんにおきましては、次の機会に是非参加していただきますようお願い致します。

※ この防災訓練参加と非常通信訓練に関して、今月発行のJARL宮城県支部だよりの7ページに記事が掲載されていますのでご覧ください。



※ 平成28年6月17日の河北新報に「アマチュア無線大活躍」と題して、当クラブが登米市総合防災訓練に参加したことが紹介されています。5ページに記事のコピーを掲載しましたのでご覧下さい。

※ 関連情報として、広報とめ2016年7月号に「【特集】自主防災」という記事がありました。そのなかの1ページを抜粋して6ページに掲載しましたのでご覧下さい。

### ● 移動運用 … 6名が参加 … 8月7日

今回は東和町米川の蚕飼山（登米市の最高峰で標高418m）での運用を行いました。参加者はJA7KTX、JA7ROC、JH7RVR、JR7SWL、JJ7HFP、JA7IUXの計6局でした。

当日は好天でしたので、暑さをしのぐため木陰にモービルを駐車し、各局それぞれのスタイルで移動運用を楽しみました。

JH7RVR・佐藤局長さんには、お祭りの出店のごとく、その場所で本格的なかき氷を作ってご馳走していただきました。（VY TNX）

また、最初に到着したJA7KTX・及川会長さんと当方（JA7IUX）は、モービルを駐車スペースに入れるやいなや、どこからともなく現れた巨大なアブの大軍にモービルを包囲され、しばらくの間身動きができない事態となるハプニングもありました。



JA7KTXさんの運用状況



かき氷を作っているJH7RVRさん



JA7IUXのアンテナ

### 平成27年9～12月の活動予定

期日・曜日	事業名	会場
H28. 9. 17 (土)	定例会	中田農環改
H28. 10. 15 (土)	オンエアミーティング (定例会なし)	-----
H28. 11. 5 (土)	親睦会 (インドア移動定例会)	未定
H28. 12. 17 (土)	定例会及び役員会 (次年度総会等について)	中田農環改

※ 定例会は第3土曜日です。5日ではありませんのでご注意願います。

なお、10月は定例会の代わりにオンエアミーティングとなっていますので、間違えないようにして下さい。

※ H28.9.4 (日) に「JARL 宮城県支部ハムの集い」が仙台自動車整備工業団地協同組合会館で開催されます。詳細は「JARL 宮城県支部だより」をご覧下さい。

# アマチュア無線 大活躍

## 登米市防災訓練にクラブメンバー参加



登米市の防災訓練に参加し、市内の被害状況の収集に当たる登米地域アマチュア無線クラブのメンバー

いのちと  
地域を  
守る

登米市が5日に実施した市総合防災訓練に、東日本大震災時に情報収集で貢献した登米地域アマチュア無線クラブが参加した。アマチュア無線は大震災で、電話が使えなかった際の通信手段として各地で救助や被害状況の把握、安否確認などで力を発揮した。市はアマチュア無線を今後の災害対応でも活用していくという。

訓練は市消防防災センターで、震度6強の地震が起きた想定で行われた。センターの一角に設置されたテント内でクラブメンバー3人が、市内各地で待機したメンバー6人と交信。道路や建物の被害状況、要救助

## 災害時の情報伝達 迅速に

者などの情報を聴き取った。

クラブは1972年にアマチュア無線愛好家が集まって発足した。現在クラブ員は約30人。多くは登米市民で一関市や大崎市のメンバーもいる。クラブは2007年に登米市と災害時応援協定を結び、翌年から10年まで訓練に参加したが、大震災以降の参加はなく、今年から再び加わった。

11年の大震災ではクラブが力を発揮した。電話などが使えない中、メンバーが避難所の状況や市民の安否情報、被害の程度などを把握し、無線を使い地元のコミュニティFMラジオ放送局に伝え、正確な災害放送に役立った。

クラブの及川健会長(66)は「自然災害では情報をいかに早く伝達できるかが鍵となる」と話し、災害時に協力する構えた。市の星茂喜危機管理監は「情報伝達のツールとしてアマチュア無線の信頼性は高く、災害時の情報を迅速に入手できる。クラブの協力は欠かせない」と期待する。



登米市総務部  
星 茂喜 危機管理監

災害の記憶を風化させず  
危機管理体制を強化

大規模災害が発生した際に、命を守るためには、「自助」「共助」「公助」の3つが必要だといわれています。

自助とは、家族を含む自分で命を守ること。共助とは、近隣が互いに助け合って地域を守ること。公助とは、市町村をはじめ警察・消防・ライフラインを支える事業者などによる応急・復旧対策活動のことをいいます。

「阪神淡路大震災で生き埋めになった人たちが、誰によって救出されたか」という調査（出典：(社)日本火災学会「兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」）があります。救出された人のうち、68%が自力や家族による「自助」、28%が近所の人や通行人などの「共助」、救助隊による「公助」はわずか2%程度でした。このことから、自助、共助の重要性が分かります。

自助力と共助力を、より高めていく備えの一つが自主防災組織です。しかし、結成しただけでは意味がありません。普段から飲料水や保存食を準備したり、救急救命処置や避難所運営の訓練をしたりするなど、日頃からの活動が、有事に動ける組織になるのです。

また、私たち行政の公助も同じで、日頃からの備えが非常に重要です。皆さんの命が助かった後、災害時の「非常」から、いつも通りの「日常」に戻す対応策を迅速に進めなければなりません。

市では東日本大震災後に「災害対応マニュアル」を作成。大規模災害時の基本的な対応法を「目に見える化」しました。職員全員がマニュアルを熟知するだけでなく、突発的な問題に対応できる実効性のある危機管理体制を築いていかなければなりません。

このように、災害現場では当初想定していなかったこと



停電で、電話や防災無線が使えない中、情報配信と確保に活躍したアマチュア無線。

常に代替案を準備

99年の台風18号での水害では、横山地区の指定避難所は横山小学校となっていた。川が決壊した情報を受けた佐々木光男さん（横山5区）は、追町に子どもを車で迎えに行つた。途中、自宅に連絡をする

一人一人が災害と向き合い  
備えを強化することが  
「自守防災」につながる

仮に防災行政無線も、エムも、メール。配信サービスも使えない場合は、トランシーバーやアマチュア無線などの利用が有効だ。

アマチュア無線は、東日本大震災時に市災害対策本部脇に設置し、情報の確保や発信に大いに役立った。トランシーバーは、自主防災組織での設置が増えてきている。上沼コミュニティ運営協議会の浅野会長は「中継をすれば、区内全域で受信できることが分かった。早い段階で全行政区分準備したい」と整備を急いでいる。

指定避難所が使えなくなることも想定しなければならぬ。前述の佐々木さんのように、備えを強化していくこと。これが自主防災組織の体制強化、「自守」につながる。

一人一人が災害と向き合い、備えを強化していくこと。これが自主防災組織の体制強化、「自守」につながる。

## JARLビューローへのQSLカード送付方法について

JARLビューロー経由でQSLカード（交信証）の交換をしている方は、ビューローにカードを送付する際、どのような方法をとっているでしょうか。カードの量により、一般的には封書やレターパック、あるいはゆうパックなどを使い分けているのではないかと思います。

実は、QSLカードの送付にぴったりのもうひとつの郵送方法として「クリックポスト」というものがあります。

日本郵便の説明によると

クリックポストとは、クリックポストWebサイトにアクセスし、利用登録の申込み及び運賃決済の手続を行った上、自宅等のプリンタからクリックポスト専用の宛名ラベルを印字して荷物に貼付し、郵便ポスト等に差し出し、受取人さまのご自宅等の郵便受箱に投かんするサービスです。追跡サービスの提供及び日曜日・祝日の配達も行います。また、宅配便よりも低コストでご利用いただけます。

とあります。このクリックポストは、日本全国一律164円で、大きさ34cm×25cm×3cmまで、重さ1kgまでの荷物を送ることができます。

ただし、

- ・ 信書や現金などを送ることは出来ない
- ・ Yahoo! JAPAN IDが必要
- ・ 支払いはヤフウォレットのみ  
(ヤフウォレットでの支払いにはクレジットカードが必要)
- ・ 手続きや宛名ラベル印刷をWebからやる必要があるため  
ネット環境とプリンタが必要

そういうことですので、ちょっと敷居が高くて気軽に使えない、と言えるかもしれません。しかし、既にYahoo! JAPAN IDを持っていて、ヤフウォレットの支払いもできる状態にあれば、ことは簡単です。QSLカードの発行が多い方は、コスト削減のため「クリックポスト」の利用を考えてみてはいかがでしょうか。

なお、QSLカードをビューローへ送ることが、信書の送達に当たるのではないかと懸念がありますが、意思を表示したり事実を通知する文書（信書）であっても、差出人の会員から各々の交信相手に対するQSLカードを一括作成しビューローにまとめて送付する場合には、受取者（JARLビューロー）に対して差出人の意思を表示したり、事実を通知するものではないため、信書の送達には該当しないと考えられます。実際、既に、ビューローへのQSLカード送付にクリックポストを利用している方々がいます。



## 「ぷらっと・とめ」に載りました

平成28年7月発行のとめ市民活動プラザニュース「ぷらっと・とめ」で当クラブが紹介されています。（「ぷらっと・とめ」を同封しましたのでご覧ください。）

当方、不特定多数との交信は「自宅からQRPで運用」というスタイルにあえてこだわってやっていますが、今回の移動運用で、これはこれでいろいろ楽しめていいなと改めて思いました。これからは時々やってみましょうか・・・。

Let's enjoy "Ham life"

事務局 三浦明彦 (JA7IUX)  
〒987-0602 中田町上沼字大泉門畑 55-1  
ホームページ: <http://www.jarl.com/tome/>  
E-mail: [ja7iux@jarl.com](mailto:ja7iux@jarl.com)  
TEL: 0220-34-4986